
大人のための異文童話集6 梅雨物語～雲の涙と風の声

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集6 梅雨物語／雲の涙と風の声

【Nコード】

N9459L

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

梅雨、それは寂しさを溜めた雲が愛おしく風を呼び続ける季節のことではないでしょうか。そんな雲と風のお話です。

雲はいいました。

風さん、どうしてあなたに出会ったのでしょうか。

私はあなたに出会うことさえなければ、いつまでも、輝く陽の光と
いうものを知らずにいれたのに。

そして心や気持ちも、どうしようもなく重くなれば、また、いつも
のように大雨を降らす。

私はそれだけでもよかったの。

きまぐれな風さん。

あの時まで私は、雨の中で消え去るように浮かんだ虹が好きでした。
なのにあなたに出会ってから、あの夢のような虹に惹かれてしま
ったの。

きまぐれなあなたがあの時、優しい風さえ送ってくれなければ、私
はいつまでも陽の光を知らずにいました。

そして哀しい時には、いつまでも地上に降り注いだ涙と一緒にこの
身も土に隠す。

そうやって泣きながら、じっとその身を潜めておくだけだった私。

だけどあるとき…

あなたの優しい声で、私は、陽射しにかかる虹を見てしまいました。
それはそれは美しく、泣くことすら忘れてしまえるような虹を。

今ではそんな虹を、もう見る事が出来なくなることなど私には考
えられない。

風さん、きまぐれでも構わない。
いつまでも、あの時のような優しい風を私に送り続けてください
ね。

それは雲のひとりごと。

哀しい思いで泣きそうになると、雲はそんなことをつぶやきながら
我慢します。

そんな我慢した雲のせいで、空の様子もどんよりとするのです。

たまにはポツポツと…

絶えられなくなった涙を少しだけ落としてしまいます。

そんな時には、どこからか風がやって来ては、哀しむ雲に優しく声
をかけるのです。

雲さん。

どうしても哀しい時には、一生懸命に我慢して、無理に泣くのを抑
えなくていいんだよ。

そんなことをすれば、いつまでも哀しみが終わらなくてあなたの涙
が続くでしょう？

それなら一層のこと、あなたの感情のままに泣けばいいのです。

哀しさを溜め込んで厚くなってしまった雲さんを、私には吹き飛ば
す力はありません。

だけど雲さんが素直に、哀しさで雨を降らせてしまえば、そのカラ
ダも軽くなります。

そんなあなたの哀しさであれば、私にも吹き飛ばすことができるか

も知れない。

私はいつでも、いつまでも、あなたを見えています。
あなたが泣き濡れたあとには、私の声で残った哀しみを飛ばしましょう。

するとまた、明るくなった空にはお日様が輝きます。

そうなればきつとまた、あの美しい虹を見ることができますよ。

そんな雲と風の密かなお話。

それ以来、どうしても我慢できなくなると、雲はたくさんの涙を降らせるようになりました。
雲が風を思ふ気持ちで一杯になって、そのせつなさでわんわんと泣いてしまうのです。

といっても、雲はいつでも泣く訳ではありません。

空に残る雲が泣けば、風はすぐにやって来ていつものように優しく声をかけます。

すると地上に溢れ落ちた雲は、そんな風の姿を見つけては、また空へと昇っていくのです。

そして空には、いつの間にか喜びに溢れたような、大きな入道雲が現れるようになるのです。

そう、いよいよ夏の訪れなのです。

梅雨。

それは寂しさを溜めた雲が、愛おしく風を呼び続ける季節のことなのです。

(後書き)

BGMにはジョージ・マイケルの“アメージング”がいいかも知れ
ませんね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9459/>

大人のための異文童話集6 梅雨物語～雲の涙と風の声

2010年10月15日01時09分発行